

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
京浜臨海部ライフイノベーション 国際戦略総合特区 (神奈川県、横浜市、川崎市)	4.8	5 進捗度 ・特区事業の実施によるライフイノベーション分野における経済効果 264% ・個別化・予防医療及び未病改善などを実現するためのデータサイエンスの活用等に 取り組む事業数 150% ・医薬品・医療機器・再生医療等製品等の早期実用化に向けた取組 件数 113% 等	4.2 財政支援等 ・地域イノベーション戦略支援プログラム ・総合特区設備等投資促進税制等 地域独自の取組 ・産業集積促進奨励金 等	5	・成果の現出を見ればほぼ文句の出ないものであると評価できる。なお、臨海部での立地と言うことで、もっと地の利を活かすことができると思われる。 ・投資額や就業者の確実な増加とともに、データサイエンス事業の推進も着実に進められており、高く評価される。規制緩和の取り組みの意向も成果につながることを期待する。 ・高い進捗度から十分な成果が期待される。日本国内における「グローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出」は重要課題であり、本事業による発展を期待している。